

市長室：対話の記録

要旨

開催内容の公開

対話の内容

市長のあいさつ(はじまり)

内容

市長のあいさつ(終わり)

第9回目となる今回は、市内の大成地区、朝日地区、啓明地区にお住まいの方をはじめとする市民の皆さんと懇談しました。45人の方が参加し、地域特有の課題や、市政やまちづくりに対する意見など、活発な意見交換が行なわれました。



日時	平成19年5月28日(月) 午後6時30分～8時
場所	旭川市啓明地区センター 大ホール(旭川市南5条通 25 丁目)
出席者	・西川市長 ・市民(45人)

対話の内容

市長あいさつ

皆さんこんばんは。

ただ今ご紹介をいただきました旭川市長の西川将人と申します。

昨年の11月から約半年間、市長として公務をさせていただいております。

今日初めてお会いさせていただく方もたくさんおられるかもしれませんし、また、日ごろからいろいろなところで顔を会わせていただいている方もいらしております。今日は平日の夕方という時間帯でお疲れのところをお集まりいただき、本当にありがとうございます。今日お集まりの方々は、日ごろから旭川のまちづくりや未来に対していろいろな思いを持っていらしたり、また地域づくりを真剣に考え、日ごろから様々な活動をしていただいて、今日までこの旭川を守り、つくっていただいている、そういった皆さま方であろうと思っております。

この対話集会は本日で9回目でございますが、この対話集会の意義、目的を若干お話しさせていただきますと思います。

私もこの市長という役割をいただいている中で、旭川の行政をつくっていく大変重要な判断の基準として、「市民の皆さまとの対話」ということを考えております。その「対話」から市政をつくっていきたい、動かしていきたい、そのような思いでこういう機会を持たせていただいております。

今日は啓明、朝日、大成地区の皆さま方を中心として来ていただいておりますけれど

も、いろいろな団体の皆さま、障害者の方ですとか医療関係の方ですとか、そういった皆さま方ともこのような対話の機会を持たせていただいております。

その中で、私もそうですし、市の職員も一緒に参加して、地域の皆さま方や様々な団体の皆さま方の日ごろ考えていらっしゃる、行政に対する期待や思いを正確に把握させていただくということも、この会の大変重要な意義であると思っております。また、その中からひとつでも多く、反映できるものとかが、また種々の事情によって将来に向けて時間をかけて検討させていただく中で、まちづくりに反映させていただくものとかが、様々なものがございまして、多くの機会を通じて、皆さま方からのご意見を私どもも発信したり、また現時点ですぐできないものはそういったことができるように努力をしていったりですとか、そういった思いでもございます。

こちらの地域は、旭川が村として最初に開村されて、本当に古い時代から栄えてきた、いわば旭川の中心部の地域でございます。

この地域には住宅街もたくさん広がっておりますし、また合同酒精さんですとかホクト電子さん、東芝さんですね、そういった工場もある地域でございます。そしてまた川がありましたし、今ちょうど高架事業が進められてきておりますけれども、新駅舎も4年後の平成22年に完成するというので今準備しておりますが、そういった駅ですとか、また商店街も抱えている地域でございまして、市内の中でも様々な立場やいろいろな仕事に就いていらっしゃる方が暮らし、またそこで仕事をしているという、そういった地域ではないかなとの思いで今日参加をさせていただいております。



また、商店街としては銀座通商店街がございまして、まんだら横町に今度は「まんだら庭園」という形で、いろいろ趣向を凝らしていただいて、地元発展、活性化のために、私どもも行政もお力添えをいただいておりますところでございます。

今までの対話集会の中で、実際に実現させていただいたといういくつかの例のうちの一つですが、8月からごみの有料化が始まります。皆さま方のところにも回覧ですとか、地域での集会などで私どももご案内させていただいているかと思っております。この有料になるごみ袋を取り扱うところ、市内の商店ですとかスーパーマーケットなどを対象として準備しておりますが、障害者の方の授産施設やその店舗でもぜひごみ袋を取り扱ってほしいというご要望を集会の中でいただき、そこでも取扱いができるようにして8月からスタートさせていただくというように、もうすでに行政に取り入れさせていただいているものもございまして。

また、例えばスーパーですとかデパート、市の公有施設等に車いすが置いてありますけれども、この車いすを使おうと思ったらタイヤに空気が入ってなくて使えなかったというようなお話しをお聞きしまして、そこで市の公有施設で車いすが設置されているところは全部、空気の再点検をさせていただいたりですとか、そういった形でも日々活用させていただいたりしております。

今日は1時間30分という限られたお時間でございます。ぜひ皆さま方から、地域のお話しでも結構ですし、旭川全体のお話しでも結構です。また、この社会の未来とかそのようなことに対してのご提言やご質問などをいただいても結構かと思っております。

私はこの対話集会は、旭川の行政を進めていく上での大変重要な機会であると思っておりますので、何とぞそのような私どもの思いも汲み取っていただいて、皆さま方と今日は素晴らしい議論またご提案をいただいたり、ご指導いただくことができればと思っております。よろしくお申し上げます。

簡単ではございますが、冒頭に私のごあいさつという形で、また本日皆さまにお集まりいただいたお礼も兼ねて、お話しをさせていただきました。今日は最後までどうかよろしくお願いいたします。

参加者A

大成地区には8条14丁目に知新小学校、7条16丁目に北都中学校がありますけれども、その周辺は住宅が少ないものですから、非常に暗いです。冬の子どもたちの下校時などは暗くて治安がよくないので、できれば夜9時くらいまで街灯をつけていただければありがたいと思います。また、6条16丁目のセイコーマートですが、そこはよく泥棒が入ります。もう3回ぐらいいは入っているのですが、あの周辺も暗いです。7条17丁目には交番もあるものの、どうしてもそういう不安もあり、また治安がよくないので、街灯の件について何とか検討していただければありがたいと思います。

市長

どうもありがとうございます。

街灯を9時まで点けてほしいということですが、早く消えている街灯があるということですか。

参加者A

いえ、そうではなくて、街灯を設置してほしいということです。ですが夜中に全然人が通らないのに灯りを点けておくのもお金がかかりますので、生徒が皆帰る夜9時くらいまで点けておいていただける街灯を設置してほしいと思ったのです。

市長

はい、どうもありがとうございます。

参加者B

市長は、素晴らしいアイデアでまちづくりをしようと、意欲的にそれに取り組んでおられるようですが、市の中に旭川市まちづくり推進室を設置して、まちづくりを進めていただきたいと要望します。

市長

ありがとうございます。

まちづくり推進室という名称ではないのですが、市の中に例えば企画部ですとか、総合計画、長期計画を立てている課などがありますので、そこでより市民の皆さんのご意見をしっかりと汲み取れるような形で、ぜひ頑張らせていただきたいと思います。

参加者B

できれば旭川市の発展のためにまちづくり推進室を設置して、市民との対話を推進していくべきではないかなと思います。

市長

はい、どうもありがとうございます。

今後またぜひ検討させていただこうと思います。

参加者C

市長は、就任後半年が経ちましたが、旭川のまちについてどのように見ておられるのでしょうか。私は札幌と旭川を26年間通いましたが、旭川市はだんだん寂れていくようです。例えば平和通にシャッターが閉まっているところが多いとか、それから空き地が随分たくさん出てきました。その点について、市長の見解をお聞きしたいと思います。

市長

どうもありがとうございます。

札幌と旭川とではかなり都市の勢いに差があるのではないかなという思いをやはり

持っていらっしゃるのかなと思います。旭川市は私が小学生の時にはもう既に36万人の人口でした。今25年経っても人口はほとんど変わっておらず、若干3,4千人減っているという状況の中で、札幌市は当時まだ100万人くらいの都市だったと思いますが、今は180万人ですから、約倍近く膨れあがっているという現状でございます。

これは様々な事情から、札幌に人口が集中しているということはあるのですが、やはり旭川は旭川で何とか活気をつけていかなければならず、これは大変重要な課題であると思っております。

中心街に空き地が増えてきていたり、またシャッターが閉まっている店が多いという少し寂しい光景も最近増えてきております。

今後の都市計画ですが、どんどん今郊外にまちが広がっていています。新規の宅地造成なんかもどんどん進んできていますが、しばらく新規宅地造成していなかったのですが、昨年豊岡や永山の方に新しく宅地造成がスタートしています。旭川の人口が何らかの要因で増えるという可能性については否定しませんが、これから日本の人口も減っていく中で、一般的に考えるとやはり札幌も含めて北海道全体の人口は少しずつ減っていくのかなと思います。

そのような中でやはり郊外にどんどん開発が進んでいくのを止めなければいけないという思いがございます。郊外に宅地を広げていくのではなく、中心街に回帰してもらい、戻ってきてもらうようなまちづくりが必要ではないかという思いでございます。

それはなぜかと言いますと、中心街は社会資本整備をお金をかけてやっているんですね。水道、下水道、電気、ガス、そして道路、また除雪も中心街の方が郊外よりもやはり丁寧にやっておりますし、そういったことを考えると、やはりそういう一番お金のかかっているところに住んでもらい、活気があるというのが、これからの地方都市の姿ではないかなという思いでございます。

これは1,2年ではできないかもしれないですけど、例えば10年、20年先の旭川のまちを考えていくときに、そういった考えに基づいて都市計画を進めていきたいということで、中心街をまず活性化していきたいと思っております。旭川に来られた方が駅を降りて「まち全体がちょっと元気ないなあ」と思うってしまうというのは、まちにとっても大変な損失だなと思います。

それ以外にもいろいろあると思いますけども、大枠で申し上げますとそんなような思いでございます。

参加者D

私は、この地域は旭川の中心街と言っていいのではないかなと感じています。

この中心としての中央公民館の役割というのは非常に大きかったと思います。また今でも随分多くの方々がいろいろ学習の場として使われておりますし、私も中央公民館には20数年間お世話になっております。中央公民館が神楽の方に移るというお話を聞きました。中央という言葉がなくなると、神楽公民館になるということなんですね。中央公民館には高齢者の大学、障害者の学習室、様々な学習・研修室があり、随分とお世話になった地域の人たちがたくさんいますが、やはりまちづくりに真剣だからだと思います。

私も美しいまち、きれいなまち、住み良いまち、ここに旭川市内に住んでいて良かったと思しながら生活ができる、そういう豊かな人間性を持って、旭川市をつくり上げていきたい思います。

中央公民館で随分と勉強した高齢者大学の人がおり、また若い人たちの力もここで随分養われております。このことから中央公民館が5条から神楽へ移るといことは、全くおかしな話ではないかなと思います。

それともうひとつですが、私たちは前市長に昭和通のシャンデリアを提案しました。テレビなども旭川といたら必ず昭和通りの2基のシャンデリアを映します。あれは、私たちは中心街を発展させようという狙いで常磐公園まで5基つくるという計画を提案したのですが、予算が足りず2基になったのです。

旭川のまちづくりは、もう少し明るいまちに、そして住み良いまちに、住んでいて良かつ

たという気持ちを持ちながら日々暮らすことができる、そういう旭川市にしていきたいと思っています。

市長

どうもありがとうございます。

大変心強い力強い旭川への思い、本当に旭川のことを愛していच्छるんだということが伝わるご提案でございました。

中央公民館の件ですが、地域の皆さま方からも何とか存続してほしいという声もございます。その中で私どもはこの公民館を残すということで今話を進めております。また名前も中央公民館のままです。

神楽の方に今度新しく公民館をつくるのですが、そこはそこで中心的な役割も担い、施設も大きくなりますが、こちらの中央公民館は今までどおり地域の方に使っていただけるようにいたしますので、また今後ともぜひ皆さんに活用していただければと思います。

それと、昭和通のシャンデリアについては、私もそこを歩く時いつも見えています。当初5基の予定が2基となったということですが、やはり多ければもっともときれいになると思います。こう言ったら申し訳ないのですが、厳しい財政状況の中で当時減らしたというような背景があるかと思えます。ただ今後ともやはり美しいまちにしていこうという思いはございますので、なるべくお金をかけなくてもきれいにできる部分があれば、ぜひやりたいとも思えますし、若干財政に余裕ができた時にはもっともって電飾、電気なども考えていきたいなと思っております。

生活交流部長

先ほど市長から申し上げましたとおり、中央公民館に全市の公民館を指導する中心的・指導的な機能があり、その機能が神楽の方に移転しますけれども、今まで使っている中央公民館は名称はそのまま地域の公民館として利用できるような形で残したいということでございますので、ご理解いただければと思います。

参加者E

大成、朝日、啓明のそれぞれの地区に公園があります。以前、私が調べたところ、市が管理している128か所の公園にトイレがあります。ところが冬になると、水の使用ができなくなっています。子どもたちは、夏は元気に公園で遊ぶのですが、冬になると公園は雪捨て場になってしまい、遊ぶ場所がなくなるのです。冬にも公園で子どもたちを遊ばせたいと思います。確か末広地区では公園に地域の方々が雪像やすべり台を作って、ブランコなどの代わりにして遊ばせるということをしていたと思います。そのように冬もそれぞれの公園で子どもたちを遊ばせたいと思っておりますが、雪像は水がないとできないという問題があります。常磐公園の雪像は、石狩川の水をドラム缶で汲んでつくっているのです。地域の公園で雪像などを作るときには、毎日でなくてもいいのでトイレの水を出してほしいと思いますが手続が必要となります。公園みどり課に行って、使用するための手続があるのです。手続がなくても水を使用して雪像などを作れるようにしてもらいたいと思います。

生活交流部長

確かに冬場も使うことができればいいのですが、中には通年で使用可能なトイレもあるかと思えます。ただ、やはり北海道、旭川という土地柄ではどうしても水の凍結などによりトイレ自体を壊してしまうというようなことがあることから水を止めているということもあるかと思えますので、やはり今の段階ではまだその後始末等を含めてなかなか難しい面はあるのかなと思えます。トイレの水以外にもいろいろな手法、例えば散水タンクのようなものや防火用水などもあるのかと思えますので、まだ考えられる余地はあるのかなと思えます。公園の水が一番近くてホースですぐ使えるのがいいということは理解できるのですが、手続がなくても使用できるようにということについては、多分公園みどり課の方でも苦

慮するところかなと思いますので、その件については関係部局との協議の中で、どんな方法があるのか検討させていただければと思いますので、よろしくお願いたします。

参加者E

私は、日新小学校卒業です。そこは夏は素晴らしいのですが、冬は何もないんですよ。そこにですね、常磐公園で作っている雪像を作れないかと思っています。常磐公園集中型の雪まつりじゃなくて、地域分散型の雪まつりにすれば、子どもたちがわざわざ常磐公園まで行かなくてもいいし、地域の人たちのお祭りとすることもできると思います。それには水が必要なのです。そういうことも考えてよろしくお願いたします。

市長

はい、ありがとうございます。

市内全部の公園となると非常に難しいかもしれません。具体的に挙げていただければ、可能性としてもあると思いますが、また今のご提案を市の中でぜひ協議させていただきたいと思います。

参加者F

今日の対話の仕方は非常に不合理だと思います。ごみの話もする、街灯の話もする、これではまちづくりの対話にはなりません。それなりの対話をするからには、市の部門毎の今課題として取り組んでいることなど、こういうことをやろうとしているんだということを市民に提案して、その課題に対する発言を求めて回答していくことが私は大事だと思います。先ほど市長もまちの大規模店舗進出に対する抑制策とか、住宅地の拡大抑制ということも考えなければならぬということを言っていました。経済、商業対策とか、交通対策とか、観光対策とかそういう課題に対しての意見はないかどうか聞くなどの方法をとってほしいと思います。

二つ目は、私は啓明地区の交通担当として、市の協力を受けながら、信号機設置やバスの大正橋通りへの導入などに取り組んできました。その中で感じたのですが、生活交流課の人にバスのことでお願いに伺ったところ、すぐにバス会社や陸運局に掛け合ってくれたり、いろいろとやってくれました。非常にうれしかったです。このように打てば響くと言いますか、「すぐやる課」といいますか、そういうものが生活交流課にはあって非常に良かったです。残念ながらほかの部署では非常に不満な対応でした。私がいろいろ頼みに行っても、中には嘆願書のようなものを集めて来いとか言う人もいます。私たちが頼みに行ったら、それを聞いてすぐ目の前で市役所の人が書類を作ってこれでいいかと、こういうところに掛け合って行かなければならぬけれど、あなたの町内ではどういう協力してくれる、うちもこうやるからと、お互いに協力するところはする、やれるところはやらせて、そういう姿勢が市役所にはないと思います。私の出した書類をただ書き換えて官庁に届け、お願しますということだけで帰って来ているような感じがします。私たちが頼みに行ったら、ただそれを受け取って取り次ぐ程度の仕事ならいいです。やはり腰を据えて交渉し、要望が実現するよう努力してほしいと思います。

また、市庁舎にはいろいろなポスターを貼っていますが、ポスターがはがれて見えなくなっても知らないふりをして仕事をしている。市の職員は朝出勤して何を見ているのでしょうか。仕事に対する姿勢が分かりますよ。本気になって仕事をする気になっているのかどうかと思いますよ。それに関連して市役所でつくるいろいろな資料、これも市役所に行ったら山のように積んであります。市民の人が見て分かるようにしているんだけど、残念ながらそこまで行って資料を見る人はいないです。市民広報だってもらってもすぐ投げる人もいます。そういう人が大半なのだから、職員が満足するようなつくり方はだめだと思います。資料なども本当に必要なものだけでいいです。もう厚いものをつくっても見えないですから、本当に必要なものだけにしてください。

市長

今のお話は市役所の職員に対しての叱咤激励ということで理解させていただき、市民のみなさんにいつも見られているんだという思いで、今後とも心がけていくように頑張っていきます。

市民広報を見ている方は結構いらっしゃいます。それには市の情報、行事やごみの話などが書いてありますので、貴重な税金で、私どもも何とか市民の皆さんに知ってもらいたいということをつくっていますので、私はぜひ読んでいただきたいと皆さんにお願いしたいと思います。

参加者G

ごみの有料化については結構ですが、ごみのことが今この町内でも問題になっていると思います。ごみステーションへの不法投棄をするのは町内会未加入者が大半です。未加入者というのはマンションの住民が多いのですけれども、ごみを分別しないで捨てています。町内会に加入するような支援策についてもう少し強く取り組めないかという気がします。

今、地域で子どもたちの安全のため不審者対策の取組をしていますが、町内会に加入していない親たちが「不審者対策は町内で行って」と言います。もう少し市の方から町内会加入促進に向けての支援策を取ってほしいと思いますのでよろしくお願いします。

市長

どうもありがとうございます。

ごみの問題と町内会未加入者の問題はどこの地域からも必ずご提案していただいております。私どもも大変な問題だなという認識でおりますが、町内会加入について、強制加入とは行政からはなかなか言えないものですから、このあたりがネックになっているのですけれども、ただ権利を主張するからには義務を果たしていただくというのが本来の姿だと思いますので、行政の立場からも機会を通じて皆さんに啓発するということは今後ともやっていきたいと思っております。またもし何かいいアイデア等がございましたらぜひ皆さま方から教えていただければと思います。ごみについては8月以降は有料化になりますので、不法投棄に関しては大変な問題になると思っておりますので、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

生活交流部長

町内会未加入の件については、大変苦慮されていると思っております。行政はお願いばかりしてくるくせに、自らは何もやってくれないと怒られると思っておりますが、市長が言ったように強制加入というのはなかなか難しい中でどうしていくのかについては、町内会の役割、意義などを理解していただくことと、またある町内会では街灯代やごみの部分の最低限の費用だけを払っていただくようお願いをして理解してもらっているところがあると聞いております。一番良い方法は加入していただくことなのですが、様々な会合などの場での情報交換などを通して、いい方法を検討していければいいのかなと思っております。私どももできる限りのご支援はしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく申し上げます。

清掃事業所長

日ごろからごみの分別、ごみステーションの管理などいろいろと地域の皆さんにお世話になっているわけですが、今お話のありました町内会未加入者、ごみステーションの不適正排出、いわゆる分別をしていない、排出する曜日の間違いといったことがいろいろな地域で問題になっております。そういった状況が続くようであれば、清掃事業所の方に相談していただければと思います。私どもも地域の皆さんと連携を取りながら、それぞれのごみステーションの排出状況のマナー向上のための取組をしております、かなりのことになってしまうとば語弊があるかもしれませんが効果や成果を上げております。町内会未加入者やアパート、マンションに住んでいる方に対しても、いろいろと工夫して取り組んでおり、一定の効果あげておりますが、不適正排出が続くようでしたら、事業所にご相談

いただき、私どもと一緒に取り組んでいただければと思いますのでよろしくお願いします。

参加者D

広報誌は全てのマンションの方々に配布されているのでしょうか。新聞と一緒に入ってくるというように聞いていますが、マンションの人たちは北海道新聞ではない、別の新聞をとっています。

生活交流部長

昔は町内会にお願いして配布していただいたこともありましたが、町内会未加入の方もいらっしゃるということで、今は市民委員会にお願いして全戸配るようにお願いしてやっただいておりますし、そういう体制が組めない市民委員会では、業者の方をお願いして、未加入の方にも配布する形を取っております。ですから基本的には全市民に見ていただくような体制を取っております。

参加者D

なかなかそれが行き渡ってないのか、しっかり読んでいないのかわかりませんが、私は広報誌の中の大事なところを抜き出してコピーをして、マンションに配っています。ごみの正しい出し方を徹底するためにコピーをして配っているのですが、全くでたらめなごみの出し方をされてしまいます。

市長

どうもありがとうございます。

広報誌は市内全世帯に配布する形でやっております。恐らく読んでいない方がそうしたごみの出し方をしているのだと思いますが、もし周囲でお気付きの方がいればぜひ教えていただければ大変ありがたいと思います。また、必要があれば私どもも地域にお伺いします。

参加者C

市民広報を見ますと、旭川市の負債が相当あるようです。全てはまちづくりのためなのでしょうが、投資をしていくといろいろとその他の事業、例えば福祉などに影響してくるのではないかと思います。第2の夕張市に旭川市がならないように、市民のことを考えて実行していただきたいと思います。、市長の方から、旭川市は夕張市のように絶対にならないんだということをここで明言をしていただきたいと思います。

市長

本当にありがとうございます。身近なところが財政再建団体になったというショッキングな出来事は、やはり私たちにもまた多くの市民の皆さんにも「うちのまちは大丈夫なんだろうか」というような思いを抱かせると思います。旭川市の財政状況も決して楽ではありません。しかしながら、私は絶対に旭川市を財政再建団体にしないように、しっかりと皆さんのお話を聞かせていただき、また今日は皆さんあまり新規にお金のかかるようなお話しはされてないですけど、そういう場合も多々ございます。そういう場合にはやはりご理解をいただくということも必要かと思いますが、そのご心配にしっかりと応えて、旭川市は健全な財政を取り戻すということで頑張りますので、よろしくお願いします。

参加者H

旭山動物園は盛んに人が入っておりますけれども、次々と新しいものを作れば非常にお金もかかると思います。計算をしてみると、旭川市民以外の人の入園料を100円値上げすると約3億円の収入となり、200円値上げをすると約6億円の収入になりますので、動物園の人氣が高まっている今、入園料の値上げを検討していただけたらと思います。

旭川市は今、非常に景気が悪いものですから、生活保護を受けている人が非常に多い

です。それが悪いとは言いませんが、生活保護を受けながら、朝からお酒を飲んだりパチンコに行ったりしておる人が非常に目につきます。ですから、もう少し厳しくやっていただきたいと思います。

市長

ありがとうございます。

動物園の入園料については、私もいろいろなところで安すぎるという話を市民の方からも市外から来られた方からもお聞きます。旭山動物園がこんなに人気が出たのがここ3、4年のことで、10年前までは閉園しようかというような時代もありましたので、それに対して私たちも追いついていない部分もあるかもしれませんが、おっしゃるとおり去年は300万人の方に来ていただいております。100円値上げするとちょうど3億円になるんですね。3億円というもうひとつ施設を作ることができるくらいのお金なものですから、今後の検討課題とっております。ただ上野動物園が620円なんですよね。この全国の動物園の中で上野動物園よりも入園料を高くしないというようなことが今までであったというお話も聞いておりますので、将来、旭川が上野よりも高くなるということは、動物園の世界ではかなり劇的なことになるというようなことでもございます。

今は人気があるのですけれども、今後ともそれを維持して300万人の方に来ていただくということは非常に難しいと思います。これが150万人、200万人、もしくはその辺でこの先安定して続いていけばいいなと個人的には思っていますが、その辺の兼ね合いを見ながら料金についても考えなければいけないかなと思いますので、今後の検討材料にさせていただきます。

また、生活保護の件につきましても、本当にいろいろな所でお聞きしており、なかなか抜本的な解決方法を見い出せない状況ではありますが、保護課の職員も不正受給などをなくそうと一生懸命頑張っておりますので、ぜひ皆さんの方からも、不正をしている方について、例えば具体的に名前や住所を教えてくださいと一番ありがたいです。もし、具体的に挙げていただければ私どももしっかり調査していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

参加者I

北彩都の事業を今一生懸命ご苦労なさっていることはよく分かりますが、こういう財政状況の中で例えば5年かかるところを7年かかってもやり通すつもりなのかということ、まずお伺いしたいと思います。岡山市のように一生懸命市長はやりたいと言っても議員がそんなものは止めればいいと言っている様子を先日テレビで放送していました。

それと、南6条通が駅前につながりますね。これは都市計画街路ですから、もう少し明るくなくてはだめだと思います。

今、合同酒精のところに大きな店舗ができるようです。そうすると今後騒音の問題が出てくると思いますので、それについても認可をするときにしっかり考えてもらわなければ困ります。そのようにして大成、朝日、啓明地区の再開発をすることによって、もっとまちがよくなると思います。特に南の啓明地区については、行き止まりの道路がたくさんありますので、その点についてももう少しやってもらわなければいけないと思います。

先ほどからごみの問題が出てきていますが、他都市ではマンションを建てる時に、建てる地区の町内会長のところへ行き、証明をもらうらしいです。その証明には町内に対して応分の負担をしますという誓約書なのです。そういう都市もあります。だからもっと行政はそういうことを調べてやるべきだと思います。

ごみステーションの問題ですが、先ほど申し上げたとおり、まちの中が明るくなると、夜持ってきて捨てるのは抵抗があると思います。清掃事業所の人はずいぶん、雨の日も風の日も雪の日も一生懸命頑張っています、言うのは簡単ですけど、やっている人のこともきちんと理解してものを言わないといけません。行政ばかりいじめているのはまちの中はよくならないというふうに思います。

市長

どうもありがとうございます。北彩都あさひかわ整備事業につきましては、今まさに工事の最中でございます。平成22年度中に新しい駅舎が完成する予定で、それ以降旧駅舎の取り壊しに入り、駅前と駅裏公園工事とこの啓明地区と南6条通の整備に入りますので、最終的に完成するのは平成24、25年ぐらいになるのかなと思います。しばらく時間のかかる大事業です。

議員の方にもいろいろな意見がございますけれども、ぜいたくなことをやるということではなくて、100年に一度の大事業でございますので、華美な投資という部分は避けながらも、しっかり最後までやり抜いていきたいなという思いでおります。これはやはり今後の旭川の未来を決めていく大変重要な、しかも稀な公共事業という位置付けで進めております。

また、南6条通等についてのご指摘がございましたが、今度道路が新しくなることによって車の流れも大きく変わり、車の通りも増えるでしょうし、またまちなみも変わってくると思いますので、それに合わせて考えていきたいと思っております。

ショッピングセンターの方は今ちようど地域の皆さま方と相談をされていると先日新聞に載っておりましたが、詳細について部長から話をしてもらっていいですか。

生活交流部長

合同酒精の跡地に出店等の計画をしている会社が、23日にこういう形であそこの場所に建てたいということの地域住民を対象とした説明会を行いました。6月1日まで住民等の意見を聴く期間だと聞いております。その後どうなるのかというお話ですが、先日の説明会の中では、まだ具体的な詳細等は分からないようでしたが、今はこういう店舗をこういうふうはこの場所につくりたいということに対しての意見をお聞きしている段階で、それは大規模集客施設のガイドラインに基づくものだという事らしいです。

道が基本的に許認可をするのですが、ある程度計画が具体化する中で、大規模小売店舗立地法に基づく説明会も行われ、地域からも交通、騒音、廃棄物などについて、これらの対処方はこうすべきとか、こうしてほしいなどいろいろな意見が出て、またその際に市としての意見も求められると思いますので、その中で対応していくことになるだろうと考えておりますのでよろしくお願ひします。

市長

現在、ホームマックが入るということは決まっているようですが、その他の具体的なことはまだ決まっていないようです。騒音などの周辺への影響なども大変重要な問題だと思っておりますので、私どもも行政の立場から意見を言っていきたいと思っております。

また、市民の皆さんと一緒にまちづくりをやっていくという協働の精神と言いますか、こういったことで協力していただけるように私どもも努力していかなければならないと思っておりますし、ぜひ皆さんにもそういう思いでまちづくりに一緒に携わっていただくことができれば、まちももっともときれいに、元気になっていくのではないかなと思っております。今後とも頑張りますのでよろしくお願ひします。

参加者J

私は、地球温暖化についてすごく危機感をもっております。テレビで見たのですが、これからは外からエネルギーを持ってくるのではなく、できる限り地域でエネルギーをつくろうという運動がもうEU諸国では始まっており、その点では旭川は広大な土地がありますし、バイオマス、太陽光、風力などいろいろと工夫次第で賄える分というのはかなりあると思います。これからの世代のことを考えると、そういうことを今からやっておいた方がいいと思います。そういう将来のエネルギー確保についてどういう展望をもっているのかお聞きしたい。

個人的には、大量に降る雪から何かエネルギーを出せるのではないかなと勝手に思いこんだり、あれこれやってみているのですが、なかなかうまくいきません。

それに関連して、植林運動を至るところでやっていますが、危機的な状況だということで、もっと大々的に地域で頑張るしかないんだという感じでやる、そういう運動をすればいいのではないかと考えています。

先日、市民農業大学に参加しましたが、実際に農家を見たら、規格外の野菜があまりにも多くて破棄されていました。スーパーなどの協力を得なければいけないんですけども、農家に何とか利益が出る範囲で、規格外の野菜を流通させてみたらどうかと思います。道内の野菜は農薬量は少ないので、多少規格外でも求めている人は結構多いと思います。

最後に、この対話集会は、30、40代の方はまだこの時間だと仕事をしていると思います。私も今日やっと来たのですが、もう少し遅い時間に開催しないと若い人はなかなか集まらないと思います。また、やはりこれからの世代を担っていくという意味では、次の世代を担う高校、中学、小学校に行ってお話をするというのもいいのではないかと考えました。

市長

ありがとうございます。

地球温暖化のお話も本当にそのとおりでなと思っております。旭川市内には発電所がないものですから、火力発電所、原子力発電所、遠いところで発電したものを運んでもらっているという状況になっておりますので、これは旭川市単独というよりも北海道全域で考えていくべきことだと思っております。ただ京都議定書での今後の私たちの約束であります、二酸化炭素の量を今後16、7パーセント減らすということをやっていかなければなりません。これは真剣に私どもも考えていかなければならないと思っております。

それと同じような関係から植林運動ということも大事なことだと思っておりまして、緑が増えると二酸化炭素が減っていきますので、地球温暖化も防止されていくのかなと思います。植林運動もいろいろな団体がやっておりますけれども、まだまだこれはごく一部のかなと思います。そういう気運を高めていくという努力を私ども行政では今後課題としてやっていかなければならないのかなと、旭川だけではなく全国、世界中の国がやっていかなければいけない重要な流れだと思っております。

規格外の野菜については、若干ですが今流通されているものもありますし、それを買って、カット野菜などの形で使ったりしているのですが、よく富良野などに行くと豊作の年に玉葱が大量に破棄されている光景を皆さんも見たことがあると思いますが、あれもすごくもったいないなと思います。価格統制ということで農協が中心となって流通をコントロールしているのですが、規格外の野菜が市場に大量に出てくるとそういった心配も若干出てくると思うので、バツグンしないで有効に使える方法を今後考えていかなければならないと思っています。

これもまた大きな話になってくるのですが、多分近い将来、世界中で食糧不足になってくると予測されています。中国、インドはどんどん人口が増えていまして、地球温暖化で気象が変わってきて、中国もそのうち農作物が取れなくなるということも言われ、アメリカも砂漠化がどんどん進んできている地域があり、農作物輸出国ですけれども将来どうなるか分からない。私たちは食糧自給率40%ですが、昔のように自国内で食糧を全部自給しなければならない時代が来るかもしれないという心構えはしておかなければいけないのかなと思います。これも市だけではなく、国全体での政策だと思っておりますけれども本当にそう思います。

この集會に若い世代の方に来ていただくための時間帯についてですが、年配の方、退職された方は早い時間の方がいいと思うのですが、今後の検討課題として、若干時間を遅らせるということも考えた方がいいのか、それとも別のスタイルで若い世代の方の意見を聴くような場所をつくった方がいいのか、検討材料にさせていただきたいと思っております。

参加者K

今、地球温暖化の話が出ましたが、技術革新はいいのですが、今人間として元に戻ることが大事なのではないかなと思います。それで今、私が考えているのはコンビニの深夜

営業や自動販売機を深夜12時から5時ぐらいの間は営業を自粛してもらおう。これによって二酸化炭素の排出が削減されると思います。今旭川だけでも外にある自動販売機は1万台以上ぐらいあるのではないかと思います。夜中に買いに来る人はほとんどいないのに電気を使って二酸化炭素を排出しているんですよ。こういう基本的なことを見直さないといけなのではないかと思います。それとコンビニですが、深夜12時から5時の間に利用している人がどれだけいるのか、また逆にこれが開いているがために、青少年の健全な育成を妨げているのではないかと思います。本当に若い人を育てる場合にはやはり人間として昼間は働いて夜は寝るという基本に戻れるように、ここで利益優先というものを改めて見直すということが大事ではないかと思います。できることから二酸化炭素排出を抑える、それによって人間というものも変えていける、今は物よりも人間だと思います。技術革新もいいですが、大自然の警告というものを本当に考えているのだろうか、これだけ地球を破壊してことについて真剣に考えているのでしょうか。来年地球サミットが開かれるということですが、本当に真剣に考えていけないのではないのでしょうか。

市長

貴重なご提案をいただきましてありがとうございました。

コンビニも自動販売機の件もこれから真剣に考えて行かなければならない部分ですが、行政という立場で民間業者にどれだけ規制を課することができるかということもあるかと思えます。しかしながら、社会全体でそういう気風をつくっていくことが大切だと思いますし、来年は洞爺湖でサミットもありますし、日本は二酸化炭素削減の京都議定書の議長国でありますことから、これはしっかりとやっていかないと日本という国が世界から相手にされなくなってしまうと思っております。私どもも重要な課題だと受け止めさせていただきます。すぐこれを実現するというのは非常に難しいかと思っておりますが、そういう方向に向けて努力していきたいと思っております。

参加者M

昨年の11月頃から安否確認という大変な事業を、町内会を主体に地域で取り組んできております。

旭川市社会福祉協議会にその仕事をおろしましてね、それから地区社協、市民委員会、民生委員も含めて頑張っておりますが、これ以上事業をしっかりと進める上で、どう見ても予算が足りなくなってくるのではないかと感じております。

それで例えば安否確認の対象者に地区センターなど、このような所に集まって出てきてもらえれば、安否確認は必要ないと思います。

そういったことをこれからするにしても、かなりいろいろなことをお願いしなければならないとは思いますが、ただ、この安否確認については、市の方ではお話しが全然出ていないのではないかと考えられます。つまり、行政としての市のバックアップがなくては安否確認は成り立たないのではないかと感じております。その辺のお考えをお聞きしたいと思えます。

市長

間違ったお話しをしてしまうと申し訳ないので、もう一度これは確認させていただいて、後日またご連絡させていただきたいと思えます。

参加者G

市長はスポーツマンだということで、ぜひお願いしたいことがあります。

私の経験上、スポーツというのは高校生くらいまでは指導者次第でどうにでも変わるといような考えを持っています。

南高が今日も野球で勝ったというお話しも聞きました。旭川では野球のほかには柔道が盛んでありますが、それ以外の種目ではあまり戦果が上がっていないように思えます。教

職員でそれなりの人を旭川に引っ張っていただければ、オリンピッククラスの選手が何人でも育っていく可能性があると思いますので、その点についてご検討をしていただければと思います。

市長

私もレスリングを高校時代にやっております、スポーツは本当にすごく大切ななと思っております。

以前は、公立校も私立校も先生の引き抜きということを結構やっていたようですね。例えば、柔道だとか野球などはかなりやっていたんですけど、最近は以前に比べてできないような状況になっているのかなということがありますが、教育委員会にもそういった要望があるということでお話しをさせていただき、今後協議させていただきたいと思います。

市長終わりのあいさつ

今日は限られた時間でしたので、発言したかったけれどもできなかった方もいるかと思いますが、ちょうど1時間半という時間が人間の集中力が持続する時間かなと思っていて、2時間、3時間と続くと結構疲れてくるものですから、今日お話ししたかった件についてお話しできなかった方は、また後日にお手紙でも電話でも結構ですので、もし言いそびれたようなご提言等ございましたら、ぜひそのときにまた言っていただければと思います。

今日は本当に身近なお話しから、そしてまた地球規模の未来を心配していただいているお話しから、本当に貴重なご意見・ご提言をいただいたと思います。これもまた市で検討させていただいて、すぐ反映させていただけるもの、また長期的なビジョンの中で考えていくまちづくりの計画に組み入れさせていただけるようなものなどを整理させていただいていこうと思いますので、今後ともよろしく願います。

今日は本当に、皆さんらの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。今後ともよろしく願います。